

旭川市テレワーク導入奨励金による  
テレワーク導入・実施事例集

(令和3年9月10日追補)



旭川市経済部



旭川市テレワーク導入奨励金 実施事例

	業種	企業・団体名称	事業概要	ページ
1	卸売業, 小売業	株式会社アラジンコレクション	輸入家具・輸入雑貨・天然石の小売り・卸販売, ECサイト販売管理運営	1
2	卸売業, 小売業	株式会社内田歯科材料店	歯科用医療器具・機械, 医薬品, 歯科材料, 書籍, デンタルオフィスコンピュータ等の販売及び機械器具のメンテナンス	3
3	卸売業, 小売業	地酒のまるしん商店	酒類食品小売販売業, 日本酒・焼酎・ワイン・地ビール・食品など	5
4	卸売業, 小売業	有限会社パウワウ・コーポレーション	メンズ・レディース衣料品, 靴, 革製品, アクセサリー及びアウトドア製品の販売, バイカークラブ等オリジナル製品の卸売・小売	7
5	卸売業, 小売業	有限会社北海道農水産	魚類, 農産物の卸売り, 道外客向け観光土産販売, インターネットショップ販売・運営, ダイレクトメール販売	9
6	卸売業, 小売業	有限会社夢工房	レッグウェア専門店の運営, 観光土産品の製造及び卸・小売	11
7	金融業, 保険業	株式会社マイスターサービス	損害保険代理店業務, 生命保険募集業務	13
8	学術研究, 専門・技術サービス業	株式会社北日本広告社旭川支社	総合広告業, テレビ・ラジオCM, 新聞広告, 雑誌広告, Web, イベント, キャンペーン, SP/ブランディング, 編集, 出版	15
9	宿泊業, 飲食サービス業	株式会社フレアサービス	食材提供から施設食堂運営までのサポートを行う総合給食会社, 配食サービス, 栄養管理, 病態食・アレルギー食の個別対応食提供, セミナー教室開催	17
10	その他サービス業	株式会社ヒートマックス	家具の修理, リフォーム, リノベーション, オーダー家具製作, 住宅・店舗などの内外装リフォーム, 外構, 設備, 建築全般	19
11	医療・福祉	有限会社バリーツウッドウ	介護福祉事業, 認知症対応型共同生活介護	21
12	医療・福祉	有限会社Freedom	認知症対応型共同生活介護等	23
13	医療・福祉	有限会社ユートピア・アットホーム旭川	訪問介護, 居宅介護支援, 特定施設入居者生活介護, グループホームの運営, 有料老人ホームの運営	25

# 株式会社アラジンコレクション

所在地:旭川市豊岡4条8丁目2-7  
連絡先:0166-34-8088

## 業種・事業概要

輸入家具小売り・卸販売  
輸入雑貨小売り・卸販売  
天然石小売り・卸販売  
ECサイト販売管理運営

Aladdin Collection



## 従業員数

5名(令和3年7月現在)

## 資本金

1000万円



## テレワーク導入の経緯・目的

当社では対面の店舗販売に加え、5年前よりECサイトを立ち上げ販売を行ってきた。そのような中、コロナ禍における店舗販売の落ち込みもあり、対面販売の販売員をECサイト運営管理ができるように教育を行った。ECサイトの運営管理においては、梱包発送作業以外の業務について在宅での作業が可能のため、従業員のワークライフバランスの確保と業務の効率的な運用のためにテレワークを導入する。

## テレワークの実施概要

### ■実施期間

令和3年6月23日～

### ■これまでの実績

テレワークを行うにあたり、ECサイト管理のうち一部業務についてテレワーク可能と判断し、本店勤務の2名につき週1回のテレワーク勤務を実施した。

### ■テレワークを実施した部門、作業概要

ECサイト管理業務のうち下記業務について本店勤務従業員が行った。

- ・受注確認: ECモール、ECサイトの受注確認をし受注確認メールの送信を行った。なお、在庫確認などは店舗受注スタッフと連携し行った。
- ・発送連絡: 店舗常駐スタッフが発送作業を行い、発送済ステータスに変更されたものに対し発送連絡メールを送信する。
- ・商品出品: 事前に撮影した撮影データと諸元に基づき、出品作業を行った。

### ■使用したICTツール、設置費用など

会社貸し出しパソコンとインターネット回線を利用した。店舗スタッフとの連絡にはGoogle Meet(リモートミーティング)およびLine Works(チャット機能)を利用した。店舗側パソコンにはリモートデスクトップを利用してアクセスした。

### ■工夫したこと

店舗スタッフとの連携、分業でECサイトの管理運営を行った。

## テレワークに関する社員の声

- ・テレワークの就業規則が整備されたので安心して業務ができた。
- ・通勤時間がないのでその分自分の時間が持てた。
- ・自宅内作業で時間管理をうまく行えば家族との時間を有効にとることができた。
- ・交代ローテーションでテレワークができるため店舗に出勤しているスタッフに気兼ねなく仕事に当たれた。いろいろなツールを使って情報共有ができてうまく連携できたと思う。
- ・困ったことがあってもすぐ相談できたのでテレワークで問題なかった。



（受注確認）  
自宅でのテレワーク作業



テレワークス  
タッフとの打ち  
合わせ  
チャット機能  
Works

## テレワークの成果

- ・従業員のワークライフバランスの向上に寄与できた。
- ・ローテーション制を採用したので一部の従業員に負担がかかることなくテレワークを実施できた。
- ・ICTツールの教育訓練ができ、それぞれの操作技術が向上した。
- ・コロナ禍においては出勤することによる感染リスクを低減できた。
- ・ICTツールを利用することで従業員間および従業員と経営者間でのコミュニケーションをスムーズに行うことができた。

## テレワーク実施に当たっての課題

- ・ECサイトの顧客対応や出品業務はテレワークで可能であるが、発送する商品は店舗にあるため発送業務はテレワークでは今のところ対応できない。  
したがって、必ず店舗への出勤者が必要になる。
- ・上記理由により、当面は勤務シフトの調整が必要なため大幅なテレワークへの移行の阻害要因となる。

## テレワークの今後の活用法、期待すること

- ・例えば、今後、EC業務が大幅に増加した場合は、発送業務をフルフィルメントサービスなどに移行し、完全リモートでのテレワークを視野に入れていきたい。
- ・従業員のワークライフバランスを向上させて定着率を高めていきたい。
- ・経営者もテレワーク普及のため自ら実践し、気兼ねなく従業員にテレワークを利用してもらいたい。
- ・店舗型小売業の場合、基本的にテレワーク利用は難しいが、EC業務のウエイトを高めてできるだけテレワークの活用の幅を広げていきたい。
- ・今後は時間による業務管理から成果に応じた評価基準の導入を検討し、従業員の士気の向上も図っていきたい。

## (株)内田歯科材料店

所在地:旭川市7条通6丁目左9号  
連絡先:0166-22-6655

### 業種・事業概要

歯科用医療器具・機械、医薬品、歯科材料、書籍、デンタルオフィスコンピュータ等の販売、及び機械器具のメンテナンス

### 従業員数

12名

### 資本金

1,000万円



### テレワーク導入の経緯・目的

コロナウィルス感染拡大防止や人との接触をしなくても大丈夫な仕事を行えるようにする。  
また、社員の介護や子育ての支援を行えるようにする。

### テレワークの実施概要

■実施期間 令和3年6月26日～

#### ■これまでの実績

何ができるか否かをはかるため、新たなチャレンジとして行う。

営業部2名にて実施。(外勤が主になっている者と営業アシスタントが主になっている者)

#### ■テレワークを実施した部門、作業概要、使用したICTツール、設置費用

外勤が主の者

・社内作業を自宅で行う。見積書、受注処理、ICTツールはiPadをメインにスマホ

・営業ミーティングを自宅で行う。

営業アシスタント

・資料、データ管理を自宅で行う。ICTツールはノートPC(会社貸出)

・受注処理(iPad使用)

※いずれも現在会社が保有している機器にて実施出来たため、新たな費用はない。

#### ■工夫したこと

不慣れのなかから始めるため、テレワーク実施しやすい曜日を選定したこと。

上司が遠隔などの参加を推奨し、やりやすい環境に意識したこと。

## テレワークに関する社員の声

### ●外勤を主とする者

会社に戻る時間を有効活用出来、効率向上が出来た。

### ●営業アシスタント

通勤時間がかからない分、余裕を持つことが出来た。

自分のタイミングで休憩などが出来、リラックスすることが出来た。

### ●その他社員

見えない分、報連相を密に行わなければ、状況がつかめないなど改善点が見えた。



## テレワークの成果

・仕事柄、お客様の都合などで、会議、ミーティングに参加できなかったこともあったが、ZOOMなどのツールを使い、参加出来るようになった。(外勤を主とする者)

・家事との両立した仕事が出来るようになった。(営業アシスタント)

## テレワーク実施に当たっての課題

・報連相を通常よりも意識して行う必要がある。

(お互いの状況がつかめない)

・今の段階では、出来る仕事に限られてしまう。仕事を切り分けて、テレワークでも可能な仕事を見つけていきたい。

## テレワークの今後の活用法、期待すること

・社内説明会、セミナーなど自宅や移動先などで参加できるようになる。

・ライフワークバランスが取れる環境に改善していくことを期待したい。

・今後もまた感染拡大によって緊急事態宣言が出て外出が制限されることもあると思うので、普段からテレワークでも出来るような仕事を見つけ、テレワークになったとしても臨機応変に対応出来るんじゃないかと思いました。

# 地酒のまるしん商店

所在地: 春光台3条4丁目1-13

連絡先: 0166-52-2157

## 業種・事業概要

酒類食品小売り販売業

日本酒・焼酎・ワイン・地ビール・  
食品など

(実店舗・ECサイト)で販売

## 従業員数

3名

## 資本金

0円



## テレワーク導入の経緯・目的

せまい事務所や店舗での密を避ける為、  
人員を分散し感染リスクを軽減する。

## テレワークの実施概要

### ■実施期間

6/1～7/3

### ■これまでの利用人数等の実績

社員2名

### ■テレワークを実施した部門、作業概要

ECサイト運營業務をメインに行う。その他、各種問い合わせ対応、店舗用POPチラシの作成など。

### ■使用したICTツール、設置費用

専用個人PC2台(社員1名につき1台)

## テレワークに関する社員の声

### ■実施した社員の方の反応

概ね良好。安心して働くことが出来る。

### ■その他の社員の反応

特にこれといった反応はないが概ね良好。同じ空間にいない為、雑談は減ってしまった。



## テレワークの成果

社員同士の感染リスクを大幅に下げることができた。

アナログで行っていた業務もデジタル化したことで、データを共有することが出来るようになり、業務が効率化された。

## テレワーク実施に当たっての課題

大きな問題はないが、  
連絡・確認事項など細かな部分に一部支障があり改善に手間取った。

長く続くと、社員同士の雑談などが無い為、そこから生まれるアイデアを得ることが出来なくなる懸念がある。

## テレワークの今後の活用法、期待すること

感染リスクを軽減することが目的でしたが、  
副産物として、業務の効率化があり、できる限り継続して行う予定。

継続してテレワークを行うことで社員のスキルアップなどによる、さらなる効率化やECサイトのコンテンツ充実。

### 業種・事業概要

メンズ・レディース衣料品、靴、革製品、  
アクセサリ及びアウトドア製品の販売

バイカーグローブ等オリジナル製品の卸、  
販売



### 従業員数

9名

### 資本金

300万円

### テレワーク導入の経緯・目的

新型コロナウイルス感染対策と、それに伴い学校等が休校になった場合に、社員が仕事と育児を両立できる体制を整える為に導入しました。

### テレワークの実施概要

- ◎ 実施期間  
令和3年8月1日～
- ◎ これまでの利用人数  
1名
- ◎ テレワーク実施部門、作業概要  
WEBサイト運営スタッフのテレワーク実施  
画像、デザイン作成及び商品登録や集計等の業務
- ◎ 使用したICTツール  
自社の共有PC貸与、社員自宅のWi-Fi使用

## テレワークに関する社員の声

- ・通勤時間が無いため、時間に余裕ができる。
- ・足りないデータや書類のやり取り等、慣れてきたらスムーズにいくと思う。
- ・育児で作業が中断してしまうことがある。



自宅での様子



会社での様子

## テレワークの成果

今回のテレワーク実施で出来る仕事の確認が出来たので、いざという時に備えて定期的にテレワークを続けていき、今後の体制を整えたいと思います。

## テレワーク実施に当たっての課題

今後増えると思うので、テレワーク実施社員各家庭のインフラ整備、および貸与するノートパソコンの購入等が必要。

## テレワークの今後の活用法、期待すること

コロナウイルス等感染症対策や災害などの緊急時に業務を続けられる方法の1つとして、活用を続けていきたいです。

また、育児や介護等と仕事との両立を支援し、何かと変化の多い世の中に対応し、様々な働き方での雇用を試みることができると期待します。

# 有限会社北海道農水産

所在地:旭川市末広1条11丁目1-24  
連絡先:0166-58-5858

## 業種・事業概要

- ・魚介類、農産物の卸売り
- ・道外客向け観光土産販売
- ・インターネットショップ販売と運営
- ・ダイレクトメール販売
- ・道外旅行会社と土産品販売の為の営業、打ち合わせ。



## 従業員数

3名

## 資本金

300万円

## テレワーク導入の経緯・目的

- ・主に観光土産品販売は、対面販売が主であったが昨今の新型コロナウイルス感染拡大の影響でお客様と対面での販売が困難となり今後はインターネットショップ販売や個々のお客様とSNSを利用した販売、案内方法にシフトすることを重点項目としテレワーク導入を試験導入した。
- ・道外旅行会社との営業、打ち合わせは従来は出張で現地に赴いておりましたが道外への移動も難しい中、人との非接触で従業員の安全、身体的ストレスの軽減の為にWEB会議やSNS上での開催を提案し一部では実行しております。
- ・又、非常時にて事業の継続が出来る様テレワークを導入し生産性を向上させる目的です。今後は、テレワークの導入により従業員のワークバランスも向上するものと考えている。

## テレワークの実施概要

### ◆実施期間

令和3年5月30日～令和3年6月26日

### ◆これまでの実績

新型コロナウイルス感染症の対策として、職場での集団感染のリスク低減のため、全体で7割の出勤率の低減を実施し、最低1人以上が週1回以上テレワークでの業務に取り組むこととした。実施目的や実施手法、セキュリティ等に関するテレワーク実施時のルールを策定した上で業務を行い令和3年6月末までに、割合にして従業員の1割程度が実施している。

### ◆テレワークを実施した部門、作業概要

企画、営業、販売の部門から試験的に実施した。

取引先との打ち合せ、顧客の問い合わせ対応等は在宅勤務で対応し、本社との打ち合わせ等もWEB会議やSNS上で内勤職員と繋ぎ、営業内容の説明を行ったり、ネットショップの運営、管理等もテレワークの一部として実施している。

### ◆工夫した事

道外取引先との打ち合わせは現地まで赴いての出張が主であったが、取引先へ業務提案でWEB会議、メールでの業務提案、打ち合わせをお願いし一部の取引先と実現、実行中です。今後は、多くの取引先と実現できるようWEB会議を提案しているところです。

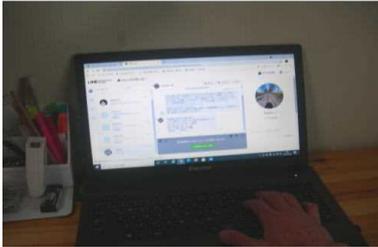
### ◆使用したICTツール

試験実施の為今回は実施者のノートパソコン、スマートフォンで試験的に代用し、勤怠、業務管理は会社指定の物、WEB会議、ビジネスチャットツールはLINEビジネス等使用した。通信費、電気代等は一部会社が負担し実施者の負担軽減を図った。今後はノートパソコン・タブレットを会社で購入し貸与する予定。

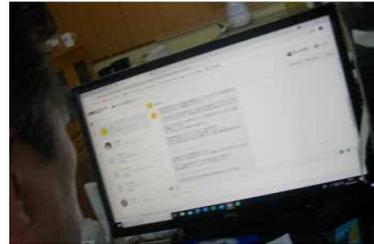
## テレワークに関する社員の声

- ・コロナウイルス感染リスクを負わずに安心して業務に取り組めた。
- ・業務の分担化により個々の仕事効率が上がった。
- ・社内規程の整備により、安心して在宅勤務を行うことができた。
- ・通勤時間がなくなり、朝の煩雑さから解放され身体的ストレスがなくなった。
- ・取引先との営業活動がテレワークで出来る事が分かり営業活動の幅が広がった。
- ・出張頻度を減らす事ができ経費削減や感染リスクの低減が出来ると好評だった。
- ・1人での業務で取引先との意思疎通の希薄さが危惧されたが、リモートでの会議等で十分に解消されることが分かった。

自宅にて



会社にて



## テレワークの成果

- ・コロナの感染拡大に対し、休業、時短営業を行わずに、事業を継続することができた。
- ・コロナ対策として臨時活用の予定であったが、実施者から「作業効率が良い」、「通勤、現場移動の時間を有効活用が出来る」「今後も行ってほしい」という反応があり、好評だった為今後も積極的に実施していきたい。
- ・当社も働き方改革を推進し、フレックスタイム制の導入やペーパーレス化が検討されはじめ、経費面でも良い兆候が見え始めた。
- ・通勤している者も含めて、勤怠や実施業務の管理をITで行うことにより、従業員の動きが正確に掴めるようになり勤怠管理に割く時間が大幅に削減できた。

## テレワーク実施に当たっての課題

- ・IT関係の熟知者が少なくテレワークを実施できる人材に限られている。
- ・テレワークを行える取引先に限られている為、今後はもっと提案幅を広げていかなければならない。
- ・社員の少ない当社で、テレワークが出来る、機材操作可能な人材の育成が不可欠である。
- ・通信機器やITソフトの統一化、管理方法、セキュリティーなどを安全に管理、運営できるかまだまだ改善の余地がある。

## テレワークの今後の活用法、期待すること

- ・定期的なテレワークによって、社員の働き方・時間の有効利用・コロナ対策以外にも感染症対策(インフルエンザ等)として有効に活用したい。
- ・テレワーク可能な業務を更に探り、全員でテレワーク利用が出来るよう拡大していきたい。
- ・社内でのテレワーク利用の運用がスムーズに進めば、取引先との円滑なWEB会議的なことにも更なる有効利用できるのではないかと期待している。
- ・加えて、顧客とのコミュニケーションツールとしても有効な地元のネット動画などの作成も手掛けられるような取り組み方が出来るよう努力していきたい。
- ・インターネット販売を拡充し販路を拡大し日本国内から世界へ北海道の文化や食べ物などを発信しインバウンドのお客様でも利用できる環境づくりをしたい。(多言語対応のWEBページ等)テレワークの一環として業務に取り入れたい。

# 有限会社 夢工房

所在地:旭川市2条通11丁目  
連絡先:0166-26-3836

## 業種・事業概要

レッグウェア専門店の運営  
観光土産品の製造及び卸・小売

Particular  
いっしょからいっしょでいっしょ



## 従業員数

4名

## 資本金

300万円

北海道の 夢工房



## テレワーク導入の経緯・目的

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、主にレッグウェア専門店の発注業務にテレワークを導入いたしました。WEBカメラなどを利用して在庫状況を調べ発注をしております。集中することで来客による中断がなく円滑に進みロス軽減になっております。

## テレワークの実施概要

### ◆実施期間

令和3年6月5日～

### ◆テレワークの実施部門

レッグウェア専門店

### ◆テレワークの内容

店頭スタッフによる発注作業、各種SNS、WEBサイトの更新作業  
売上管理、シフト管理など

### ◆テレワーク利用人数

1日1名×週2日程度

### ◆使用ICTツール

会社のパソコンと個人のツール

今後は個人のツールではなく会社にて整備する予定

### テレワークに関する社員の声

- ・自宅や空きスペースを利用して主に発注作業を行っております。人との接点がないため感染予防対策にはテレワークが最適です。
- ・最近では休園休校が多く、その都度シフトの変更をすることになり時間の有効活用ができなかった。在宅ワークができる環境が整えば少なからず人流を抑制することができると思います。



### テレワークの成果

新型コロナウイルスの影響で来店客数が減少しておりスタッフが過剰。自宅や空いているスペースを利用して作業を行うため、店頭での密を避けることができる。

### テレワーク実施に当たっての課題

- ・少人数で運営しているため、テレワークのできる人数は限られる。
- ・店頭と在宅ワークに距離ができてしまうとコミュニケーションが取りづらくなる。
- ・出勤時間などの管理方法、作業報告の仕方。

### テレワークの今後の活用法、期待すること

実店舗では店頭にて接客販売を行ってききましたが、仕事の内容からして100%テレワークは不可能。テレワーク、在宅ワークの時間と質を向上させていくためにこれからはムダを省き、新たな販路を模索していきたいです。

## 株式会社マイスターサービス

所在地: 旭川市川端町4条9丁目8-13  
連絡先: 0166-57-1831

### 業種・事業概要

損害保険代理店業務  
生命保険募集業務



### 従業員数

4名

### 資本金

200万円

### テレワーク導入の経緯・目的

新型コロナウイルス感染症対策・非常時の事業継続が可能となるよう  
テレワークを導入。

今後は働き方改革の一環とし業務生産性の向上や育児や介護など仕事の両立支援にも  
さらに活用を目指す。

### テレワークの実施概要

■実施時間 令和3年6月～現在も引き続き継続中(令和3年8月)

■これまでの利用人数等の実績  
各社員が週に1回以上実施

■テレワークを実施した部門・作業概要  
全部署 営業・オフィス

■使用したICTツール・設置費用  
ツール: ZOOM  
費用: ノートPC・WEBカメラ・マイク付きスピーカー など20万円

■工夫したこと  
ZOOMの操作については全員がテレワークできるよう事前に練習をした。

## テレワークに関する社員の声

- \* 新型コロナウイルス感染リスクが軽減され安心して仕事ができる。
- \* 通勤やお客様宅への移動時間が削減でき、時間が増えた。
- \* ZOOMを利用することで会議や営業では顔をみながら、資料なども共有し普段と変わらない打ち合わせや営業が可能と実感した。



## テレワークの成果

- \* 新型コロナウイルス感染症の対策ができた。
- \* 今後も働き方改革として、引き続きテレワークを導入しても支障がないことがわかった。

## テレワーク実施に当たっての課題

- \* 在宅だけでは完結できない業務もあり、出勤している社員に負担がかからないよう調整が必要。

## テレワークの今後の活用法、期待すること

- \* 今後の感染拡大に備え、引き続きテレワークを導入していく。
- \* 今後採用する従業員のライフスタイルを考慮し求人の面接からテレワークを導入検討していく。求人のPRにも活用していきたい。
- \* 子育て世代・介護世代の従業員の離職防止にも活用していく。

株式会社北日本広告社  
旭川支社

所在地: 旭川市宮下通7丁目3897番地1 旭川駅前ビル2F  
連絡先: 0166-20-0007

### 業種・事業概要

総合広告業  
テレビ・ラジオCM 新聞広告 雑誌広告  
Web イベント キャンペーン  
SP/ブランディング、編集、出版

### 従業員数

24名(R3.4.1現在)旭川支社

### 資本金

8,000万円



### テレワーク導入の経緯・目的

今般の新型コロナウイルスの感染拡大を機に、非常時の事業継続が可能となるようテレワークを導入した。その他、業務生産性の向上、社員の通勤時間の削減、ワークライフバランスの向上、優秀な人材の確保等にも資するものと考えている。企業の将来を見据えた事業計画を推進するためにも大事なテレワーク導入プロジェクト、コロナ感染拡大による損失を防ぐツールとして必要と考えている。

### テレワークの実施概要

#### ■実施期間

令和3年6月4日～

#### ■これまでの実績

新型コロナウイルス感染症の対策として、職場での集団感染のリスク低減の為全体で5割の出勤率低減を目標として、最低1人が週1回以上取り組むこととした。実施に先立って実施目的や実施手法、セキュリティ等に関するテレワーク実施のルールを策定した上で、業務のペーパーレス化等を進めた。

今後の感染拡大も考え秋口までに全社員の60%程度の導入を計画している。

#### ■テレワークを実施した部門、作業概要

事務作業、打合せ、顧客との問い合わせ等を行う在宅勤務の他、外勤社員が取引先訪問時にPCでサービスの説明を行ったり、現場の確認を行ったりなどの在宅勤務以外のテレワークも実施している。

#### ■使用したITツール

試験的に実施するため、勤怠、業務管理やWEB会議で使用する遠隔用PC10万円×4台を購入した。

## テレワークに関する社員の声

- ・コロナ感染リスクを負わずに安心して業務に取り組めた。
- ・時間にゆとりができて、仕事に集中できた。
- ・公園などでも行い気分転換ができた。
- ・働く時間の選択ができるので、これからの両親の介護との両立が可能になると思う。
- ・WEB会議等で情報の共有化ができた。
- ・1人での業務のため、社内でのコミュニケーションの希薄さが危惧されたが、リモート会議等で充分解消されることが分かった。



## テレワークの成果

- ・コロナの感染拡大に対し、事業を継続することができた。
- ・働き方を見直すきっかけとなり、フレックスタイム制の導入が始まり、業務効率化の重要性が改めて認識された。
- ・社内においても積極的なWEB会議の活用で情報の共有化ができた。
- ・通勤している者も含めて、勤怠や実施業務の管理ITで行うことにより、社員の動きが性格に掴めるようになった。

## テレワーク実施に当たっての課題

- ・在宅勤務時における、部下の労務管理の難しさを感じる。
- ・購入費用の課題もある。
- ・総務系の運用は検討が必要。
- ・セキュリティー管理問題。
- ・年齢の高い社員を中心に新たに導入した機器の操作への慣れが必要に思われる。

## テレワークの今後の活用法、期待すること

- ・今後の感染拡大に備えて、事業継続計画の柱として、テレワークによる柔軟な勤務態勢を整えて行きたい。
- ・これからの新しい働き方改革として進めて行きたい。
- ・雇用者一人一人のライフスタイルを考慮し、今後もより使いやすいルール、設備を導入し社員の離職防止の他、優秀な人材や新卒者への採用に当たってのPRに活用したい。
- ・勤務・業務管理のIT化を進め、適正評価のための素材として活用したい。
- ・誰でも円滑にテレワークを実施できるツールの導入を検討したい。
- ・一定の課題もあるため、実施した者へのヒヤリングを行い、現場の声を踏まえテレワークを更に充実させたい。

# (株)フレアサービス

所在地: 旭川市永山北1条10丁目4-6

連絡先: 0166-47-8981

## 業種・事業概要

食材提供から施設食堂運営までのサポートを行う総合給食会社です。配食サービスを行っており、クックチル方式を導入し安全かつ衛生的に食事を提供できる特徴があります。栄養管理、個別対応(病態食、アレルギー)や安否確認などの連携で毎日の食事をサポートします。



## 従業員数

28名(旭川正社員)

## 資本金

2,638万円

## テレワーク導入の経緯・目的

テレワーク勤務は、ワーク・ライフ・バランスの実現、地域活性化の促進、交通代替によるCO2削減など環境負荷の軽減、非常災害時の事業継続を目的として行います。テレワークを導入することで、緊急時においても平常時と変わらない事業運営を可能としていきたい。

## テレワークの実施概要

### ■実施期間

令和3年8月4日～

### ■これまでの利用人数等の実績

1名

### ■テレワークを実施した部門、作業概要

総務課で実施した。

人事システムやIndeed求人に関すること等の打ち合わせをZoomで行い、フォルダ管理、支援金等の申請書書類作成を行った。

労務に関する部分として、一緒に取り組む従業員との連携をとりながら、説明やタスク管理を行っていった。

### ■使用したICTツール、設置費用

試験的に実施する為、総務課との連携や社内との連携は、これまで使用していたチャットワークやZoomを使用してやりとりを行った。

### ■工夫したこと

規定を作り、従業員に周知した上で、テレワーク導入担当を選任し、実施の方法や不明点について随時対応していった。また、実施者には専用のノートパソコンを貸与した。

## テレワークに関する社員の声

- ・コロナの感染リスクが少なく、安心して業務に取り組めた
- ・通勤時間が無くなり、朝ゆっくり準備をすることが出来て時間にゆとりができた
- ・来客対応や突発的な業務が無くなり、仕事に集中できた
- ・1人での業務に、従業員とのコミュニケーションの気薄さが危惧されたが、Zoomやチャットワークで十分に解消されることが分かった



## テレワークの成果

- ・コロナ対策として臨時の活用を予定していたが、ワーク・ライフ・バランスの実現、地域活性化の促進や非常災害時の事業継続に有効であると感じた。
- ・実施者本人から「通勤時間が有効に使えて良かった」「週に1~2日であれば、継続的にして欲しい」という反応があった
- ・出退勤の連絡や、通常業務のやりとりをチャットワークでリアルタイムで行っていくことにより、社員の動きが掴めた

## テレワーク実施に当たっての課題

- ・出勤前や退勤後にパソコンを使用しているかどうかの確認ができないため、長時間労働をしている可能性がある
- ・栄養課や総務課は、まだFAXやプリンターを使用することが多いため、毎日テレワークというのは難しくなっている

## テレワークの今後の活用法、期待すること

- ・今後、感染拡大に備えて、テレワークによる柔軟な勤務体制を整えていきたい
- ・ワーク・ライフ・バランス実現の為に、環境が変わっても長く続けられるルールを作り、採用求人のメリットとしてPRしていきたい
- ・現在も少しずつ実施しているが、更なるペーパーレス化を実現していきたい
- ・各部署でヒアリングを行い、現場の声を取り入れながら、テレワークが円滑に実施できる環境を作っていく
- ・管理職やその他従業員へのテレワークに関するセミナーを行い、他部門での活用に向けた理解を促していきたい

## 業種・事業概要

家具の修理、リフォーム、リノベーション  
オーダー家具製作  
住宅・店舗などの内外装リフォーム  
外構、設備、建築全般  
(建築業許可(般-2)上第05692号)

## 従業員数

2名(令和3年7月現在)

## 資本金

500万円



3人掛けソファー  
貼り替え座落ち修理



## テレワーク導入の経緯・目的

弊社では現場での修繕・加工などの現業業務と営業・見積・事務経理などの業務が混在し、移動による非効率な業務輻輳が問題になっていた。

一方、従業員の働き方を考えたときこうした移動による業務の無駄が負担になることがしばしば生じていた。

こうした、移動による業務の無駄を見直し、従業員のワークライフバランスを充実する目的でテレワークの導入が決定された。

新型コロナウイルスの感染防止の観点からもテレワークの有効性を認識した。

## テレワークの実施概要

### ■実施期間

令和3年6月16日～

### ■これまでの実績

テレワークに先立って業務の「棚卸」を行い、それぞれの担当している業務を仕分け、テレワーク可能な業務を洗い出した。その結果「営業活動」、「事務業務」、「広報」の一部業務をテレワーク可能と判断し実施した。納期や顧客との連携により業務を週1～2日に集約した。

### ■テレワークを実施した部門、作業概要

主に営業部門と事務部門の事務所内作業をテレワークに移行した。

- ・テレアポイント:貸出携帯電話を利用し行った。
- ・ダイレクトメール制作・発送:こちらもテレアポイントと同時進行で行った。
- ・見積・請求書作成:自宅パソコンを利用し作成業務を行い、印刷・発送は出社している社員もしくは実施者が出社時に行う。
- ・ホームページ更新:自宅パソコンを利用し更新作業を行った。

### ■使用したICTツール、設置費用など

主に実施者が持っているパソコンとインターネット回線を利用した。WEBカメラなど不足分は購入補填した。業務に利用する携帯電話は貸し出した。

### ■工夫したこと

テレワークで行える業務を集約しできるだけ週1～2日に集約し実施した。

## テレワークに関する社員の声

- ・通勤時間がないので自分の時間の自由度が増えた。
- ・これまで非効率だった仕事を見直しできた。
- ・仕事のペース配分が自己裁量なので順序だては難しいが、責任をもって業務に当たれた。
- ・実際に人と会う仕事が軽減されたのでコロナの感染リスクも少なくなったと思う。
- ・社内外でコミュニケーションが円滑にいか心配だったが、やってみると意外とうまくいった。
- ・本当に会社内もしくは現場でやらなくてはいけない仕事ははっきりわかりよかった。

ミー  
ティ  
ング



自  
宅  
事  
務  
作  
業



## テレワークの成果

- ・テレワーク可能な業務内容の検討により、系統的に業務仕分けができた。
- ・業務内容を集約することにより効率的に仕事を行う機運が生まれた。
- ・テレワークに使用するICTツールの選定過程でこれまでICTツールの利用をためらっていた層が興味を示し、必要性の理解を共有できた。
- ・通勤や業務移動時間の短縮により、時間的に余裕ができ、社員のワークライフバランスの向上に寄与した。

## テレワーク実施に当たっての課題

- ・社員の通信環境が不安定なことがあり、適したICTツールの選定が必要である。
- ・業務時間と私的な時間の区別があいまいになる傾向があり、時間管理の難しさがある。
- ・顧客対応で緊急の場合など、どうしても現場に出向く必要なことがあり、顧客理解を得るための事前告知と認知に時間がかかる。

## テレワークの今後の活用法、期待すること

- ・コロナ禍が一定程度落ち着いた状況になっても、今後の事業展開を見据えてテレワークを継続的に利用できるように環境整備を図っていきたい。
- ・社員のワークライフバランスを図ることにより、社員の定着と福利厚生の充実に寄与したい。
- ・さらなる仕分けによって、テレワークできる業務を増やし、仕事の品質を向上しながら効率化を図っていきたい。
- ・社員のみならず、経営者についても場所を限定しない仕事の方法について検討・実践していきたい。
- ・零細・小規模な事業所でも工夫次第でテレワークできることを示して、取引先や協力会社とも連携を図っていきたい。

# 有限会社バリーツウドウ

所在地:旭川市2条通16丁目500-2  
連絡先:0166-24-1182

## 業種・事業概要

介護福祉事業  
認知症対応型共同生活介護

## 従業員数

25名

## 資本金

300万円



## テレワーク導入の経緯・目的

- 新型コロナウイルスの感染対策として。  
出勤などの移動の抑制による感染対策。

## テレワークの実施概要

- 実施期間  
2021.7/13～現在
- これまでの実績  
利用人数 1名
- 実施部門  
管理職 作業:シフト作成、実績確認、ケアプラン、life入力
- ツール  
リモートアクセス対応のVPNルーター。社内VPNへの接続。リモートデスクトップ。ビデオチャットシステム導入等。
- 工夫したこと  
ミーティング・会議等のビデオチャットの積極的利用の推進。実施環境整備の為の、必要知識についての相談。

## テレワークに関する社員の声

通勤時間が節約できる

自分の過ごし易い環境で仕事ができる。(事業所だと利用者等、周囲の事情に依存)

一人で行う為、仕事に集中できる。

### 自宅



## テレワークの成果

・整備により、感染者、濃厚接触者発生などにより自宅待機になった場合でも、業務の継続が出来るようになった。

・多様な働き方の整備の一環として、育児や介護との両立などに活用できる。

## テレワーク実施に当たっての課題

・自宅での通信環境やそのセキュリティー等は各人の状況に依存する為、適時確認や知識の共有が必要となる。

・勤怠管理については遠隔監視等を行っておらず自己申告となっている

・紙媒体の書類が多く、またFAXでのやり取りも多い為、支障が出る。

・自宅からでは、郵便物の確認が行えない。

電話連絡を取る際に、社用携帯の貸与は無い為、私物を使用してしまう事になる。

## テレワークの今後の活用法、期待すること

・新型コロナウイルス終息は見通せ無く、可能な業務はテレワークを利用し、少しでもリスク軽減を行う。

・テレワーク導入に伴い、相性の良いペーパーレス化も推進したい。

・自宅で業務が行えるのであれば、育児や介護にかかる負担も軽減されるため、併せて整備していきたい。

・自宅でテレワークを行いながら事業所の状況を確認できるようなシステム。

# 有限会社Freedom

所在地: 旭川市9条通15丁目

連絡先: 0166-25-0656

## 業種・事業概要

介護保険法に基づく、認知症対応型共同生活介護等を行っています。

## 従業員数

17名

## 資本金

300万円



## テレワーク導入の経緯・目的

### ■新型コロナウイルス対策の一環として。

業務の内容上、重症化し易い高齢者と日常的に接する事から、一部デスクワーク等の事業所では無くても行える業務をテレワーク対応可能にする事により、少しでも接触を少なくする為。

### ■働き方の改革

勤務形態の選択肢の一つとして今後の為に整備。

## テレワークの実施概

### ■実施期間

令和3年6月18日～

### ■これまでの実績

実施する上での規程の整備と周知。現場業務との兼ね合いから週1回～を目安として実施。

### ■実施部門

管理職(事務作業等のデスクワークを行う者)

### ■導入したツール

リモートアクセス対応のVPNルーター。社内VPNへの接続。リモートデスクトップ。ビデオチャットシステム導入等。

### ■工夫したこと

ミーティング・会議等のビデオチャットの積極的利用の推進。実施環境整備の為に、必要知識についての相談。テレワーク貸与用のノートPCの準備等。

## テレワークに関する社員の声

- ・自宅で一人で行うことで、気持ち、時間にゆとりが出来、仕事に集中することが出来た。
- ・働く時間の選択が出来た。仕事と家庭の両立が可能。



## テレワークの成果

- ・整備により、感染者、濃厚接触者発生などにより自宅待機になった場合でも、業務の継続が出来るようになった。
- ・多様な働き方の整備の一環として、育児や介護との両立などに活用できる。

## テレワーク実施に当たっての課題

- ・自宅での通信環境やそのセキュリティー等は各人の状況に依存する為、適時確認や知識の共有が必要となる。
- ・勤怠管理については遠隔監視等は行っておらず自己申告となっている。

## テレワークの今後の活用法、期待すること

- ・新型コロナウイルス終息は見通せ無く、可能な業務はテレワークを利用し、少しでもリスク軽減を行う。
- ・テレワーク導入に伴い、相性の良いペーパーレス化も推進したい。
- ・自宅で業務が行えるのであれば、育児や介護にかかる負担も軽減されるため、併せて整備していきたい。

### 業種・事業概要

介護保険法に基づく訪問介護、居宅介護支援、特定施設入居者生活介護、グループホームの運営、老人福祉法に基づく有料老人ホームの運営を行っております。



### 従業員数

140名

### 資本金

500万円

### テレワーク導入の経緯・目的

新型コロナウイルス感染症の対応としてテレワークの検討もしたが、対人業務がほとんどを占めているため、行うことができないとの認識がありました。

しかし変異型の感染拡大も想定されることから、対人業務以外で活用することができるのではないかと検討した結果、サービス提供責任者の計画立案等の業務で行えると判明したため今回の導入になりました。

### テレワークの実施概要

#### ■実施期間

令和3年6月21日～

#### ■これまでの実績

新型コロナウイルス感染症対策のため、実施部門で最低1名以上が週1回以上取り組むことにしました。

実施に際しては、テレワークに関するガイドラインを作り、周知をしました。初めて行うため、業務が忙しい時期を避け、継続できる環境を作りました。

#### ■テレワークを実施した部門、作業概要

訪問介護部門所属のサービス提供責任者業務で事務系作業を中心に行い、提供記録の整理や計画書の立案、業務一覧表の作成などを在宅勤務にて実施しました。

#### ■使用したICTツール、設置費用

試行的なところもあるため、専用ノートパソコン1台とタブレット機器1台を用意しました。

PCリモートソフト「TeamViewer」(ノートパソコン)

連絡用「LINE」(タブレット機器)

#### ■工夫したこと

テレワーク対応専用の担当者を配置し、勤怠管理や相談のため、定時の連絡をLINEのビデオ通話で行いました。

## テレワークに関する社員の声

出社する負担がないことと、自宅で業務ができるという、肉体的にも精神的にも負担が少なく感じ、ました。しかし、毎週1回のテレワークの実施だったので、メリットが多く感じられたが、今回以上にテレワークを行うとなると、逆にほかの社員とのコミュニケーションや、自宅では行えない利用者・家族との打ち合わせなどがなくなるため、支障が多くなるのではないかと感じた。  
通信機器も使うまでに慣れが必要なため、あまり得意ではない社員では負担になるかもしれないと思いました。

自宅



社内



## テレワークの成果

出社するより効率的かどうかはすぐに判断が難しいが、通勤がないことや仕事と家事や育児の両立による精神的な負担は軽減しているところが一番の成果になりました。  
また、長期休暇になったとしても、働き方の一つ的手段として選択の幅が増えたことがよかったですと思います。

## テレワーク実施に当たっての課題

自宅のインターネット環境の有無や通信状況の良し悪しで作業の効率やコミュニケーション手段に差が出るのではないかと心配の声もありました。  
テレワークの期間が長ければ長いほど、仕事とプライベートの区分けが難しくなり、在宅勤務ならではの新たな問題が発生する可能性があるとの意見がありました。  
今回は短期間で事務業務が中心だったが、印刷する業務も増えてくると、プリンターや新たな機器を貸与するため、管理が大変になるのではないかと意見もありました。

## テレワークの今後の活用法、期待すること

今回の経験を今後の事業継続にも生かすために、できる部門から、整備を行い、柔軟に働き方の一つとしてできるように整備を引き続き行っていきたい。